

| | | |
|--------------|--|---|
| タカネトリカブト | <i>Aconitum zigzag</i> H.Lév. et Vaniot subsp. <i>zigzag</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| (環境省:絶滅危惧Ⅱ類) | | キンポウゲ科 |
| 選定理由 | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。また、大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。 | 写真(岐阜大学教育学部標本室) |
| 形態の特徴 | 茎は直立するか、またはやや曲り、高さ50-70cmになる多年草。中部の茎葉は円心形、5深裂する。花期は8月頃。枝先の散房状花序に長さ3-3.5cm、青紫色の烏帽子形花をつける。 | |
| 生態的特徴 | 高山帯に生育する。 |  |
| 分布状況 | 日本固有の種。中部地方に分布する。県内では県北の東部及び県南の東部に生育する。 | |
| 減少要因 | 本種の分布域は県北の東部及び県南の東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。 | |
| 保全対策 | 生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。 | |
| 特記事項 | | |
| 参考文献 | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982) | |
| | | |

文責:佐藤和良